

議会だより ここのえ

No.108 2015.1.17発行

12月定例会

- 平成26年度補正予算 P.2
- 新年あいさつ 他 P.3
- 常任委員会報告 P.4
- 一般質問 7名 P.6
- おでかけ議会報告 P.13
- 議員研修報告 P.14
- わたしのひとこと P.15

旭 岡嶋健一郎さん
中央一 嵐末 宣明さん

発行／九重町議会

編集／議会広報特別委員会

平成27年1月17日

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野止8番地の1

☎ 0973-76-3814 FAX(0973-76-3809)

メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp.

門松に新年の願いを込めて

平成26年 第4回定例会

本定例会は12月3日から12月19日までの17日間開催されました。
議案15件、諮問1件、発議1件、陳情2件を慎重に審議しました。

平成26年度一般会計補正予算(第7号)

補正額 3,180万6千円 減額
補正後の額 74億2,222万2千円

◆ 補正予算ピックアップ ◆

歳入

- 地方交付税 2億6,416万9千円(補正後の額 25億6,416万9千円)
- (県補助金) 公共建築物等地域材利用促進事業補助金 7,152万5千円
飯田こども園(仮称)整備事業への補助金
- 町有施設整備基金繰入金 8,500万円減額
(県より、補助金(上記分)が認められたことと、町民プール延期によるもの)
- 財政調整基金繰入金 2億1,000万円減額
地方交付税の増額分を基金に戻す。

歳出

- 恵良駅兼先哲資料館建設事業費 195万2千円
トイレ、駐車場の工事費追加
- 国保保険基盤安定繰入金(保険税軽減分) 1,038万8千円
国民健康保険特別会計へ
- ほだ木造成緊急支援事業補助金 529万4千円減額
原木椎茸種駒助成 1駒1円50銭、当初予算1,800万円
- 町民プール設計委託料 1,500万円減額
町民プールの建設が31年度以降に延期されたため



駅舎の建設が始まった恵良駅

議長あいさつ 坂本憲治



新年明けましておめでとうございます。皆様にとって、希望に満ちた、新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、九重町議会の活動に対しても、温かいご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。長年続いたデフレや不況、アベノミクスと銘うったの経済対策も、私ども、九重町に届くには、まだまだ時間がかかるような気がします。国も、超高齢社会と人口減少社会で、まち・ひと・しごと創生本部を設置、地域の基本である、まちであり人であり仕事を支援する戦略を決定しました。若い人達が安心して、九重町で暮らしていける地域づくりをめざして、特に今年には町政60周年を迎えます。

新たな気持ちで、我が町九重を見つめなおし、自らの努力で、新生九重町を創生して行きたいものです。

議会の任期も残りわずかとなりましたが、二月八日には新議員も決まります。

当面する町の課題に取り組み、日本一の田舎づくりを目標に邁進することを願い、新しい年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう祈念して挨拶いたします。

人権擁護委員 推薦に同意



(中央一)
胤末 宣明 氏

現、人権擁護委員の梅木昭次さんの任期が27年3月31日で満了となるため、その後任に胤末宣明さん（中央一）を候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。

人事案件

国に対して 意見書を提出

年金積立金の安全で

確実な運用を求める意見書

1 年金積立金は、厚生年金保険法等の規定に基づき、被保険者の利益のために長期的な観点から安全かつ確実な運用を行うこと。

2 株式等リスク性資産を高める方法での割合の見直し、危険性もあり信頼を損なう可能性もあることから、被保険者が参画し確実な意思反映ができるよう、管理・監視体制を構築すること。

以上の内容で、国へ意見書を提出しました。

九重町過疎地域自立促進計画の一部変更について

九重町過疎地域自立促進計画に事業計画を追加するものであり、産業の振興や高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進、教育の振興に次のとおり加えるものであり可決しました。

追加される事業

総務建設産業常任委員会

審査報告

議案
3件

産業の振興

基盤整備

「ブランドを育む園芸産地整備事業」

ミストシャワー導入事業

「団体営体質強化基盤整備促進事業」

水路改修事業

畑区画整備事業

「林道長寿命化対策事業」

トンネル及び橋梁点検事業

観光又はレクリエーション

「泉水コミュニティセンター熱水造成施設

蒸気配管修繕事業」

高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

「認定こども園」九重町立総合こども園（仮称）

バス購入事業

「その他」木の花保育園園舎解体工事

教育の振興

学校教育関連施設

統合関連施設屋内運動場

「このえ緑陽中学校屋内運動場天井改修工事

「その他」飯田幼稚園園舎解体工事

「〃」旧南山田中学校解体工事



解体予定の旧南山田中学校

議案第75号

職員の給与に関する条例の一部改正について

今年の人事院勧告の内容に基づき俸給表を改定するものであり、初任給を中心に若年層に重点を置いた改定であり可決しました。

議案第76号

町税条例の一部改正について

農耕作業用小型特殊自動車（トラクター、コンバインなど）と、その他小型特殊自動車（フォークリフト、ショベルローダーなど）の税率をそれぞれ地方税法に基づき県内各市町村と同等の基準での改正です。

審査においては現行からの引き上げ幅が大きくなることから軽減措置等についても検討する余地があるとの意見もありましたが、町の独自の軽減措置等については、国や県の同意が必要なことや今後の起債事業に影響が及ぶことも考えられることから可決しました。



税率が改正される対象となるトラクター

教育民生観光常任委員会

審査報告

議案 5件
陳情 2件

可決された案件

議案第77号

国民健康保険条例の一部改正について

国の健康保険法施行令等の一部改正に伴い出産育児一時金の改正を行うものであり、一時金に含まれる補償費の上限を減額し、一律に支給される金額に振り替えるものです。受給額が最大で420、000円であることに変わりはありませんが、一律に受け取れる額が14、000円引き上げられることは、被保険者側のメリットでもあり可決しました。

議案第78号

九重町旧学校施設の設置及び管理に関する条例の制定について

旧中学校が平成25年3月31日で閉校し学校としての用途を廃止したために、4地区

の旧中学校の施設である体育館やグラウンドの設置及び管理に関する事項を定めるものであり可決しました。

議案第79号

町文庫施設使用条例の一部改正について

旧学校施設の使用料等についての規定を加えるとともにナイター使用料の減額を行うもので、具体的な内容は、体育館の使用料をグラウンドの使用料は現行どおりの扱いとし、町民が利用する場合のナイター施設使用料を1時間当たり2、470円から1、200円に減額するものであり可決しました。

議案第80号

九重町活いききランドの設置及び管理に関する条例の一部改正について

旧中学校と淮園小学校のナイター施設が老朽化等により照度不足であることから、ソフトボールや野球の利用促進も含め活いききランドの野球場のナイター施設使用料を30分当たり2、100円から1、200円に減額をするものであり町民の利便性が向上することから可決しました。

議案第81号

家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法第34条の16第1項の規定に基づき、本町における家庭的保育事業の設備及び運営に関して必要な事項として、保育所等の連携や管理運営等に関する基準、事業ことの設備基準や職員の配置基準、保育時間を定めるものです。

現在町内で該当する事業所はありませんが、将来的に待機児童が発生した場合等きめ細やかなニーズに対応するために国からも求められており可決しました。

みなさんの陳情はこうなりました。

陳情

陳情受付番号第11号

野上北区行政區長 高倉秀典氏からの北区集会所の建設を求める陳情について

現在、集会所として借り受けている神社社務所の老朽化が進み、地域の高齢化が進む現状も踏まえ集落を維持して行く上でも地区住民の交流や支え合いの場として新たな集会所の建設を望むものであり採択しました。



老朽化が進む集会所

陳情受付番号第12号

連合大分南西地域協議会・連合大分南西地協日田玖珠地区協議会 議長 諫山智氏からの年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情について

全国的にも公的年金が高齢者世帯収入の7割を占める等、年金が老後の生活保障の柱となっている現状から年金積立金について安全かつ確実な運用を求めるものです。

年金積立金の資産運用についてリスク性資産割合を高める方向での見直しや改革は、国民の年金制度に対する信頼の低下を招く恐れもあることや、保険料拠出者の意思反映や管理・監督する内部体制が曖昧であること。そして年金資産運用の責任の所在も明確にされないままに年金資産の運用について見直しの方向性を示すことを問題視したものであり陳情の趣旨を踏まえ採択し、国などに対して意見書を提出することになりました。

ずばり町政を問う

7名が一般質問：夜間に開催

◆奥野町有施設(伍代施設跡)の有効活用はどう決まったか

..... 1階は貸店舗、
2階以上は住宅の整備を考えている。



井上 里子

井上 私は今年6月定例会の一般質問で、奥野町有施設の有効活用について、横の駐車場用地購入の関係もあるのですが、早期に決めるべきであるが、いつ頃になるのか聞いた。

答弁は、今年12月前には活用の方向性を出したいということだった。その後、9月に、6つのしほり込んだ活用案について議会に報告があった。それから3か月近くになる。どのように決まったのか。

町長 検討した結果、(伍代が)お菓子を販売していた部分を取り壊して、1階部分を貸店舗、2階以上を住宅として整備する方向性をまとめている。

これで理解が得られれば、関係機関等と協議しながら駐車場用地の取得に向けて取り組んでいきたい。

●来年度の町政運営の基本方針は

井上 町では今、来年度予算編成作業が始まっている

が、予算に反映される来年度の町政運営の基本方針について、重点的な部分をお聞きする。

町長 まだ大きな方針しかたてていないが、まず、町独自の財政規律を守る。財政運営の原則に立って、第4次総合計画の重点施策と、国の動向として大きな課題である地方創生の施策を推進していく。

●総合計画の具体的な取組みは「選択と集中」で

井上 総合計画の二つの重点プロジェクト「定住人口一万人」と「日本一の田舎づくり」の具体的な取組みが計画書に示されている。

これらの中から、毎年一つずつ重点的な取組みをし、ぼつて、役場内全体で、課の枠を超えて、集中的に取り組むことが、計画の目標達成に効果的ではないか。

町長 本年度から、職員を年代別に6班に分けて政策提言をさせている。(10月に提案された)そのなか

ら、来年度取り組める事業を採用していきたい。

また、雇用の場が無いので社会減(転入者より転出者が多い)が発生している。農地の保全等を含めて一〇〇%出資の会社で安定雇用を図って、人口を維持できないか検討中である。

日本一の田舎づくりプロジェクト 【具体的な取組み】

- 住民との協働による集落づくり
- 町を支える人材の育成
- 地域ぐるみによる健康づくり活動の推進
- 地域の小さな活動を大切に、コミュニティを活性化する取組みの展開
- 自給率100%をめざした地産地消と食育推進運動の展開
- 豊かな心、歴史と文化を育むまちづくり

定住人口一万人プロジェクト 【具体的な取組み】

- 若者から高齢者までが安心して暮らせる住宅の整備
- 結婚(縁結び)支援の強化
- 農業後継者や新規就農者への支援体制の確立
- いつでも安心な地域医療体制の充実
- 子育てや教育環境の充実

(第4次総合計画書)より

佐藤
博美



◆ 定住促進の具体策

…………… 子育て支援、高齢化対策、住宅対策を図る

◆ 耕作放棄地、鳥獣害対策

…………… 捕獲者の減少も大きな課題

● 町職員の地元採用 町内在住状況は

佐藤 町職員の地元出身者、最近の採用状況はどうなっているのか。

町長 過去5年間では35名採用し、17名が地元中学卒業者である。地元出身者に限定した公募ができないことは理解して欲しい。

佐藤 行政と町民のパイプ役の職員は、町内に住むのが基本だと考える。状況はどうなっているのか。



獣害防止柵設置風景

町長 151名中、27名が町外に在住している。町内に住むことを促しているが、住宅不足の現実もある。

佐藤 定住促進のためにも、行政として、住宅確保をする必要があるのでは。

町長 具体的提案もあり、住宅計画も含め今後取り組みたい。

● 「移住したい」町づくり
佐藤 どの様な取り組みを考えているのか。

町長 子育て支援、高齢化対策を中心に新たな取り組みを行う。

佐藤 我町に家を建てたい人への支援はできないか。

町長 危険家屋対策と共に取壊し、宅地化などを検討したい。

● 耕作放棄地 長期的対策は

佐藤 厳しい農業情勢の中での様に対策を考えるのか。

町長 農地の借り手、貸し手を結ぶ「農地中間管理機構」が、広がらない現状を踏まえ、人・農地プランの範囲を現行の、集落毎から小学校区毎（例）に広げる、などの検討も必要と考える。

● 鳥獣害対策 特にイノシシ

佐藤 特にイノシシ被害が大きい。対策を聞きたい。

町長 防護柵事業を進めており、今年度八千万円の事

業を行い、柵の総延長は200キロを越えている。来年度より被害の大きい所を優先し事業を続ける予定である。

佐藤 報償金のあり方など検討する必要があるか。

町長 一番の課題は、捕獲者が減少していることである。

● 女性の社会進出

女性の社会進出の必要性を訴え、庁舎内の積極的な上級職への女性登用について。また、女性が働きやすい体制づくりについて質した。



女性会議とのおでかけ議会

◆ 硫黄山の防災対策

..... 居住地への影響はなし

◆ 公共交通の今後

..... 子会社の設置も検討

有吉 富生



● 噴火時の影響は

有吉 硫黄山の現状について説明を求める。

町長 24時間態勢で監視をしているが、異常はない。

有吉 噴火した際の影響は。

町長 最大規模を想定し、長者原―牧ノ戸間の通行止めなど、観光面に悪影響は出る

が、居住地域に影響はないと考える。

● 登山者の安全確保

有吉 登山者が多い中で避難所が無い、町だけでは対応できないと思うが、対策が必要ではないか。

町長 噴火の予測は厳しいが、国や県と協議し、休憩所である、すまもり小屋を避難所として整備できない

か、関係機関と協議したい。

有吉 その他、周辺の地すべり対策と、火山状況を町民に周知することを強く求め、関係機関と協議するとの回答を得ました。

● 地域公共交通現状はどうか

有吉 路線バス、コミバスに多額の補助が行われているが、現状の報告を求める。

町長 路線バスについては赤字補填で4253万円、コミバスも利用者が多いとは言えず1670万円を補助している。

コミバスは、弱者対策、路線バスは観光客対応もあり、ご理解いただきたい。

● コミバス、路線バス今後の対策

有吉 町民のためになる改善策を検討すべきでは。

町長 利用を促すように、



路線バスから降りる観光客

努力すると共に、町民にも必要性を理解して頂き、自分たちで運行を守る意識も必要だと考える。

有吉 無駄をなくすためにも、幅広い利活用を探る必要性はないのか。

町長 ひとつの可能性として、100%出資の子会社も検討し、雇用の場にも、つなげる方法をさぐりたい。



火山活動の続く硫黄山

藤原
三治



◆ 今後の公共工事の発注

..... 基本的に地元業者を対象に

◆ 地域活性化に食肉加工所

..... 今は考えていない

● 公共工事に 地元業者の活用

藤原 今後の公共工事に地元業者を活用できないか。

町長 大型事業には、一定の条件を満たす必要があるが、基本的には地元業者を対象に行っている。

藤原 町外企業と工事契約した場合、地元の下請業者に、十分な手当が行き届いているのか。

町長 町として、契約相手に対して、そこまでの進言はできない。

藤原 地元で共同企業体などを作れば、契約できないか。

町長 過去に実例もあり、規則の検討もしていくが、事例によっては可能と考える。

藤原 分離発注も含め、可能な限り地元発注を望む。



建設が進む飯田こども園(仮称)工事

● 農業の活性化策 シシ・シカの処理場

藤原 農業の厳しい状況をどのように考えているのか。

町長 重要課題は後継者不足であり、国の支援による新規就農者も6名と、多いとは言えない。

今までのみんなといっしょで無く、個々のしつかりした経営戦略が必要だと考える。

藤原 6次産業も必要だ。



捕獲されたシカ

シシ・シカ肉の処理、加工所を作るべきだ。

町長 捕獲から持込までの時間制限や販路が思うように広がらない。維持管理など、多くの課題がある。既存施設の調査も行ったが、現在は考えていない。

● 牛乳の消費拡大

酪農家の厳しい状況を踏まえ、消費拡大を要望したが、町単独での取り組みは厳しいとの回答であった。

◆大吊橋、次の環境整備

..... イベントの強化

◆若者の人材育成

..... 社会教育計画策定中



江藤 一幸

●農業政策に反省なし

江藤 農業政策の問題点を検証もせず、事業を継続していないか。また今後期待できる品目はあるのか。

町長 大変むずかしい問題だが、漢方薬や輸入している海外産野菜といった品目に着目している。

●大吊橋の今後

江藤 吊橋周辺の整備は、



公民館活動による人材育成

誘客のために必要である。

以前、話題となった、滝つぼへ、観光客を降ろす対策を取るべきだ。

町長 滝つぼ周辺は素晴らしい自然に満ちているが、以前の地震により、歩道設置は厳しい状況にある。方法としてエレベーターしかないが、8億円程度必要であり、今は考えていない。

イベントの強化やライトアップによる誘客を検討する。

●選挙に対する区長宛て文書

江藤 今回、町議選を前にして「区長の立場で候補を支援することを禁止する内容」の文書を町長名で出しているが、何故、この時期、そして区長だけの対応なのか。

町長 経緯については、ある区長より相談を頂いた。それを受けて、区長を任命した町長の責任として、全ての区長に対し、定められた内容を周知したものである。

時期については、誤解を招かぬように配慮したい。



雨中の選挙活動

●若者の人材育成

江藤 地域活性化のため、地区公民館を充実すると言うが、公民館運営審議会は社会教育委員に兼任させており、矛盾している。若者の人材育成を教育委員会では、どう議論しているか。

教育長 大きく時代が変わったと痛感している。人を集める手段、これが至難の技である。

このことも含め、現在、社会教育計画を策定作業中である。

お詫びと訂正

前回の議会だよりNo.107 P7の下段から5行目の

町民の「くらし」と「いのち」を「くらし」と「いのちき」

に改めます。

土井眞一郎



- ◆ 企業誘致 今後取り組む
- ◆ 吊橋の収益を少子高齢化対策へ 基金で充ちし
子育て支援を行いたい
- ◆ こども園の通園対策 保護者と協議中



● 企業誘致

土井 玖珠工業団地の現状は、どうなっているのか。

町長 現在、整備が進められており、併せて埋蔵文化財の調査も行なわれており、進捗率は58%と聞いている。

土井 誘致活動はやっているのか。

町長 九重町として、独自の誘致活動はこなっていない。

土井 動きが鈍い。両町、議会が一体となって、県等に対し、誘致活動すべきだ。

町長 今は文化財調査を見守っている状況だが、今後は、対応に努力していきたい。

● 吊橋の収益を子育て支援に

土井 大吊橋の収益は、維持管理費や基金の積立、一部は子ども医療費などに充当されているが、他の利用が不明確だ。住民サービスに直結する基金に積まれているのか。

町長 19年度より子ども医療費にも充ちし、今年度より、ソフト事業に使用できる基金への充ちも行った。

土井 少子高齢化に新たな対策は考えているのか。

町長 子育てしやすい町を目指して、各事業を行っている。新年度、予算査定にも新たな支援策を提案していきたい。

● 総合こども園通園対策

土井 こども園の通園対策は、町民の関心が高い。町民に対し周知する時期は。

教育長 28年4月の開園を考えている。今まで

に、子育て支援会議を重ねて、素案を作成した。その素案に基づき、既に東飯田、野上の保護者には意見交換を終えた。南山田についても早急に意見交換したい。

土井 将来的な保護者の意見も重要であり、今の保護者だけが、協議の対象でよいのか。

教育長 まずは、開園時の



観光客で賑う九重“夢”大吊橋

保護者の意見を聞いて、対策に反映させることが必要だと考えている。

● 景気対策

土井 厳しい社会情勢の中で、町独自の景気対策に取り組む考えはどうか。

町長 国の対策に期待するとともに、当初予算に反映できるように努力したい。

◆火山防災

..... 関係機関と協議

◆農業振興

..... 国にもしっかり要求



大津留敏加

●九重町管内の火山は

大津留 九重町に影響のある活火山はどれ位あるのか。

町長 大分県内では3箇所ある。九重町内では竹田市・由布市・九重町に跨るくじゅう山系で、中腹に位置する硫黄山がある。数百年以内に噴火する恐れがある山は大船山だと推測される。

大津留 登山者の安全対策については。

町長 以前設置された、くじゅう山系火山防災協議会や御嶽山の噴火後設置された県内3火山の関係者等での大分県防災対策室を事務局とした、連絡会を設置し登山者に対する情報提供などの対応策を検討している。

●農業問題は

大津留 平成26年度の主要農産物の実績を聞きたい。

町長 米は五千円（昨年より千五百円の減）・畜産は平均単価五十万円を継続・トマトは前年度より冷夏のため若干単価が下がっている。白ネギの単価は若干上昇傾向にある。キクは減収・かすみは品種転換で前年並み・バラも前年並み・ブルーベリーは前半高単価・干しいたけは若干単価の回復基調にある。

大津留 主要農産物の今後の新たな取り組みについて聞きたい。

町長 重点品目のトマト・白ネギ、また、とうがらしについても推進していきたい。水稻に関しては温暖化に適する品種の試験栽培を町内で4ヘクタールほど実施している。九重町に合う品種を県と検討していきたい。

大津留 米について平成26年度の大きな減収に対する対応策は考えているのか。

町長 今年大きな減収で、農家は大変な状況だと考えて



重点品目のひとつ「夏秋トマト」

いる。国の方針で農業に大型補正も考えているようなので国の動向を見ながら対応していきたい。

大津留 国が唱えるまち・ひと・しごと創生について大分県と市町村が合同組織を立ち上げたと聞くが町としてどう考えているのか。

町長 ふるさと創生に関してまだ何も情報は入っていない。国は、農業収入倍増を目指すと言っているので、国にしろ

かり要求する取り組みをおこなってほしい。

●地産地消

大津留 9月の議会で地産地消推進連絡協議会の立ち上げを提案をしたがその後どうなっているか。

町長 商業・観光との連携を図ってきたが、総論では理解できるが現実的には、なかなか難しいのが現状である。町として、来年度も検討して行きたい。

おでかけ議会報告

町内3団体と意見交換

町民が考える 町づくり会議

意見交換では・町長より「町づくり会議」に諮問されていた、人口減少に対する取り組みについてが中心となりました。

- まず「町づくり会議」より町長へ答申した対策として、
- ① 婚活の充実
 - ② 子育て支援の充実
 - ③ 第3子への支援拡充
- 以上3点について、多くの



「町づくり会議」との意見交換

意見が出されました。

これらは、これまでも町の施策として実施しておりますが、より充実することを目指し声が出されました。

今後においても、町長の諮問機関であります「町民が考える町づくり会議」と、住民の代表で構成する議会とが、立場は違いますが、同じ目的をもって意見交換を定期的に実施することとなりました。

九重町女性会議

九重町女性会議との、おでかけ会議では、女性の社会進出について、様々な意見が交わされました。

女性会議のメンバーから強く主張されたのが、各家庭の中で、家事などを女性に任せるのが当り前になっていないか、といった疑問が出され、最終的に、女性会議、及び議会が共通認識した結果として、以下の3点でありました。

- ① 各家庭の中でやるべきことは、家族一人ひとりの存在を互いに認め合うこと。

- ② それぞれの組織の責任としてやるべきことは、組織の維持と後継者の育成。

- ③ 行政の責任として、社会教育の充実

以上3点を、それぞれの立場でしっかりと取り組み事が、女性の社会進出に必要であるとの意見で一致しました。

飯田・玖珠九重 両JA役員と

JA役員より、米価の下落や、飼料用米の関係で、来年度の作付に悪影響があるのでは。また、農業で生計を維持するには、複合経営が望まれるが、農業者の高齢化が大きな課題である等の意見が出されました。

一方では、町産品の販路拡大の取り組みとして、福岡市のストアーや、別府市の直販所への出品が、大きな成果を



両JA役員との意見交換

上げており、今後に希望の持てる報告もありました。

また、地産地消について農業と商業、観光との連携についても、意見交換を行いました。

指導、販売の面でJAの力を、振興策を行政が、互いに協力しあう事が、農業振興の大きな力となるのではないのでしょうか。

議 員 研 修 報 告

年間予算約15億円 介護保険を学ぶ

先般、全議員で、介護保険について勉強会を行いました。

何らかの原因で、介護を必要とされる方への支援は堅実にやっていかねばなりません。

一方、そのための施設が増えれば、その分、支出が増し、結果的に皆で負担する保険料の値上げにつながる事となります。

保険料を抑え、サービスを充実させるのは、至難の業といえます。

—では対策はないのか

いえ、制度のためにも、皆さん自身のためにも、有効な方法があります。

介護を必要とされる方には必要なサービスを利用しながら、できないことができるように、また、今お元気な方々が今後、いつまでも介護を必要とせず、健康で長生き出来れば、最高の喜びではないでしょうか。

それこそが、今、行政が力を入れている介護予防の取り組みです。

「夢サロン」「脳いきいき教室」など、高齢者を中心に、地域の集会所などを利用した様々な取り組みが、あります。

—自分自身のために

年齢を重ね、一番よくないのは、家の中に閉じこもることだといわれています。

自分自身のため、積極的に出掛け、人と会い、いつまでも元気で長寿を楽しむことです。

町民一人ひとりが、介護予防に努力すること、また地域の中でお互いに支え合い、助け合いながら安心して生活ができる環境づくりが、介護保険制度の将来を開く道ではないでしょうか。

そして、議会はそのための環境整備に努力することが、重要なのではないかと、そんなことを痛感させられた勉強会でした。



過去の投票率

平成23年	80.5%
// 19年	無投票
// 15年	85.5%
// 11年	87.3%
// 7年	89.5%
// 3年	91.5%

早いもので、任期の4年が過ぎようとしています。
4年前、議会改革特別委員会を設置し、おでかけ議会をはじめ、様々な取り組みを行って来ました。

目的は、町民の意志を代表する機関としての役割を果たすためであり、開かれた議会、町民に関心を持って頂くことも、重要な目的のひとつでもあります。

町議会議員選挙

2月3日 告示

あたしのひとこと

ホルスタインを部活に

旭

岡嶋建一郎さん



近年、全国各地でホルスタインの共進会（品評会）において、高校から出品された牛が上位入賞を果たすということが多く見受けられます。九州の大会でも、長崎・熊本・宮崎・鹿児島の高校から出品された牛が、上位入賞しております。最近開催された九州連合ホルスタイン共進会では、熊本の高校がグランドチャンピオンを獲得しました。農業関係の部活の中で学生が、一番熱心になり結果をだせるのが、ホルスタインの部活だと私は思います。

大分県の高校には、数年前か

らホルスタインが居なくなりました。意欲ある若者は、県外のホルスタインの部活のある高校へ進学しております。搾乳施設を造るとお金がかかるので育成牛だけという高校もあります。

こんな熱心に集中できるホルスタインの部活を、大分県の高校にもつくって欲しいと思います。全面的な協力は致します。



九州連合ホルスタイン共進会出品者の皆さん

あつという間

中央一

胤末 宣明さん



九重町へUターンして早十数年が経ち、寺の住職として御門徒の皆様と日々送らせて頂きながら、毎年元旦を迎え、心新たに思う間もなく「年度末」―「春季彼岸」―「お盆」―「秋季彼岸」と気づけば年末である。

しかし間違はなく過去となった一日一日の積み重ねで現在があり、御陰様としか言い様の無い現実に気づかされる。

情報技術の発展により便利になった反面、情報に振り回され、ああでもない、こうでもない主義主張を繰り返し、便利な物を

使うのが当たり前となれば…気づけば便利な物に使われていることに気づく。

世の中の行事にしても多種多様、私が子どもであった頃からしてみれば、いったいどれだけの行事が出来ては消えを繰り返して、年中どこかで何かしら行事が行われているのが常であるということとは、その数はとてつもない数であろう。又、どこの紙面を見ても人口減少、少子高齢化の文字がおどる。

「有漏有漏」しながら出来ない理由を繰り返して先送り・先送りの毎日を過ごす中、気づけば「あつという間」に過ぎ行く時の中、子どもたちが未来に希望のもてる世の中であってほしいと思うこの頃である。

私たち人間社会の苦しみは、他と比べることから始まる様である。幸いに私達の住む九重町は、自然の恵みと人のやさしさあふれる素晴らしい地域である。他と比べることなく、独自性のある、オンリーワンな九重町となっていく様願ひ、一人の町民として微力ながら、九重町のPRに努めていきたいと思う。

なつかしきあのころ
筋湯温泉

傍聴へ どうぞ

次回は3月です



議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

編集 後記

◆今年が、平穏で、暮らしやすい年であることを願っています。

この議会だよりがみなさんのもとにとどくのは一月二十日前だと思いますが、今号が現在の広報委員による最後の編集です。年4回発行の議会だよりの編集について少しお話しします。

毎定例会の最終日、だいたい二十日前後ですが、それから一週間ほどの間に、議会だよりに掲載する内容の原稿書き、原稿依頼、写真撮り、レイアウト等を6人の委員が分担し、それを印刷所に渡します。翌月の初め頃までに2回〜3回の校正をし、印刷所が仕上げをして十五日頃できあがります。

二年間、読みやすく、わかりやすい編集に努めてきましたが、議案等の審議経過や議員の活動状況が、町民のみなさんにもっとよく見える編集ができるとよかったです。

井上 里子

・広報委員長 日野 康志
・副委員長 佐藤 明郎
・委員 井上 里子
・委員 小川 克巳
・委員 佐藤 博美
・委員 池部 俊慈